発行年月	2022 年 5 月
手順書 No.	08219
品番	REBASLK11PFK

レバー錠 手動タイプ

―交換手順書―

専門業者様向け

■交換の前にご確認ください

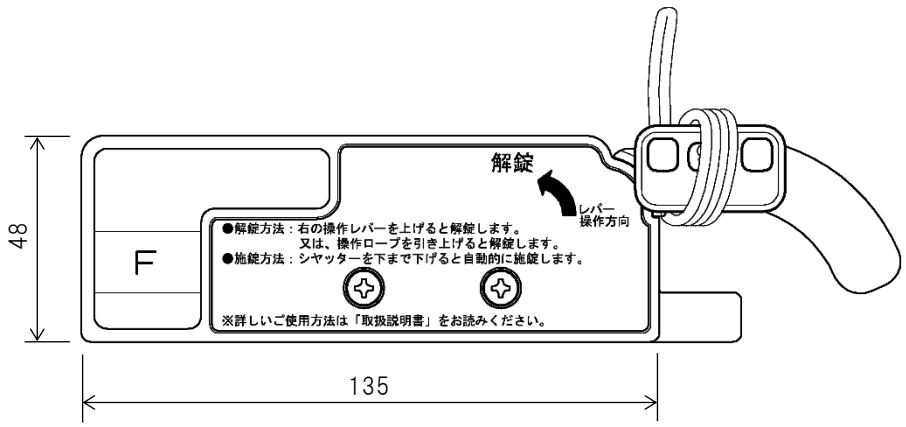
■ 安全のため必ずお守りください

・2 階腰高窓など、バルコニーの設置が無い箇所での作業は、作業者の転落や部品、工具の落下の危険がありますのでおやめください。

■ 必要な工具

プラスドライバー

■ 梱包内容

名称	形状等	個数
レバー錠 (手動用)		1 個

レバー錠 手動タイプ
—交換手順書—

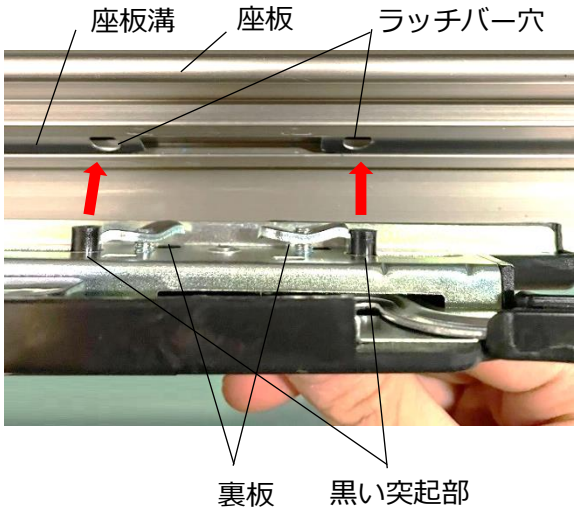
発行年月	2022 年 5 月
手順書 No.	08219
品番	REBASLK11PFK

専門業者様向け

■ 交換手順

1. レバー錠の取り外し
   ①作業しやすい高さまで窓シャッターを開放します。
   ②レバー錠が取付けられている左右の位置が分かるように、テープ等で目印を付けてください。（交換時の位置出しのため）
   ③レバー錠のねじ２個をドライバーで取り外し、レバー錠本体を座板から外します。
   ④座板の溝に残っている裏板２個を取り除いてください。（ドライバー先端の磁力で裏板をくっつけると容易に取り除けます）

2. レバー錠の取付け
   ①レバー錠の操作ロープをほどきます。
   ②新しいレバー錠のねじ先端についている裏板を水平にします。
   ③レバー錠裏面の黒い突起部２ヶ所と、座板溝内のラッチバー穴の位置を合わせます。穴位置が合わない場合は、ラッチバーを指で横方向にスライドさせてください。黒い突起部と水平にした裏板をそれぞれラッチバー穴と座板溝に差し込みます。このときレバー錠の左右が座板に密着していることを確認してください。またレバー錠の左右をテープ等の目印位置に合わせてください。
   ④ドライバーでねじを仮締めしたあと、レバーを上下させラッチバーが左右に動くこと、及び窓シャッターを全閉で施錠し、カーテン左右が正常に施錠されていること、開閉時に引っかかり等がないことを確認してください。最後にねじを本締めしてください。



<注意事項>

レバー錠の左右取付位置がずれると、施錠不良やシャッター開閉時に引っかかるおそれがあります。

元の取付け位置に合わせて固定する